

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
フィジカルアセスメント	1	後期	2	講義 30時間
担当教員	岡本明美、田中美恵子、川上裕子、松本幸枝、千葉恵子、路璐			
授業概要	複雑な健康問題を持った対象者の健康状態を包括的に判断するために必要なフィジカルアセスメントの知識と方法を学ぶ。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護に必要なフィジカルアセスメントの視点について説明できる。 2. 臨床判断に必要なフィジカルエグザミネーションが実施できる。 3. 複雑な健康問題を有する臨床事例の身体面・精神面で生じている状態の解釈ならびに必要なケアについて判断できる。 			
履修条件	特になし			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1	フィジカルアセスメントの理解、フィジカルアセスメントとフィジカルエグザミネーション、フィジカルアセスメントと看護フィジカルアセスメントの基本技術(問診、視診、触診、聴診、打診)に関する講義	岡本	
	2	呼吸器系のフィジカルエグザミネーションとアセスメント1 呼吸器疾患のフィジカルエグザミネーションに関する講義・技術演習	松本	
	3	呼吸器系のフィジカルエグザミネーションとアセスメント2 呼吸器の症状に対応した診察の進め方、異常所見と病態についての発表・討議	松本	
	4	循環器系のフィジカルエグザミネーションとアセスメント1 循環器疾患のフィジカルエグザミネーションに関する講義・技術演習	松本	
	5	呼吸器系・循環器系のフィジカルエグザミネーションとアセスメント2 循環器系の症状に対応した診察の進め方、異常所見と病態についての発表・討議	松本	
	6	消化器系のフィジカルエグザミネーションとアセスメント1 消化器疾患のフィジカルエグザミネーションに関する講義・技術演習	岡本・路	
	7	消化器系のフィジカルエグザミネーションとアセスメント2 消化器系の症状に対応した診察の進め方、異常所見と病態についての発表・討議	岡本・路	
	8	脳・神経系、感覚器系のフィジカルエグザミネーションとアセスメント 脳・神経系、感覚器系疾患のフィジカルエグザミネーションに関する講義・技術演習	松本	
	9	腎臓・泌尿器系のフィジカルエグザミネーションとアセスメント 腎臓・泌尿器系疾患のフィジカルエグザミネーションに関する講義・技術演習	松本	
	10	筋・骨格系のフィジカルエグザミネーションとアセスメント1 筋・骨格系疾患のフィジカルエグザミネーションに関する講義・技術演習	千葉	
	11	筋・骨格系のフィジカルエグザミネーションとアセスメント2 筋・骨格系の症状に対応した診察の進め方、異常所見と病態についての発表・討議、筋・骨格系の症状に対応した診察の進め方、異常所見と病態に関する発表・討議	千葉	
	12	乳房・腋窩のフィジカルエグザミネーションとアセスメント 乳房・腋窩のフィジカルエグザミネーションに関する講義・技術演習	千葉	
	13	代謝・内分泌系のフィジカルエグザミネーションとアセスメント 腎臓・泌尿器系疾患のフィジカルエグザミネーションに関する講義・技術演習	千葉	
	14	高齢者のフィジカルアセスメント 加齢による身体的・心理的变化をふまえたフィジカルエグザミネーションに関する講義	川上	
15	精神状態のアセスメント 精神状態の症状に対応した診察の進め方、特に精神疾患と身体状態の診察に関する討議	田中		
教科書	特になし			
参考書	Bickley, LS(著)、福井次矢、井部俊子、山内豊明(監訳)(2015):ベイツ診療法(第2版)、メディカル・サイエンス・インターナショナル 山内豊明(2018):フィジカルアセスメントガイドブック、医学書院 医療情報科学研究所(編集)(2019):看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント、メディックメディア			
評価方法・基準	各授業におけるプレゼンテーション(60%)とディスカッションへの参加状況(40%)で評価する。			
事前・事後学習	事前学習:下記のDVDの中から授業内容に該当する巻を視聴して講義に臨む。山内豊明(2005):山内豊明教授のフィジカルアセスメント(全10巻) 事後学習:疑問点を整理し、参考書等で調べるにより理解を深める。			
備考	基本的なフィジカルエグザミネーションについては自己学習を行う。			